

600万人を超える人々が暮らす千葉県。安全で快適で住みやすい日常の風景を支え、そして創るため、日々多くの人が働く。今以上の素晴らしい明日の千葉をデザインするために。このペーパーは、このデザインに携わる人々を紹介する情報紙です。「デザイン」という言葉は、色々な分野で使用されていますが、ここでは、河川・道路・公園といった公共施設、上・下水道などの供給処理施設の整備や環境保全など多様なことに携わり、より良い千葉づくりに役立つことを指します。

県コン新聞

平成30(2018)年2月

vol.1



知っていますか？

6月1～7日

7月7日

8月10日

9月10日

11月18日

明日の千葉をデザインする。

6月1～7日 / 水道週間

水道についての国民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るための週間。

※資料:厚生労働省HP

7月7日 / 川の日

平成8年度から国土交通省で定められた「川の日」。

河川に対する人々の関心を取り戻すこと、地域の良好な環境づくりについて流域住民・自治体が一緒になって考え、取り組むといった地域活動の支援することが趣旨。

7月は「河川愛護月間」でもある。

※資料:国土交通省HP

8月10日 / 道の日

昭和61年度から国土交通省で定められた「道の日」。

道路の意義・重要性について、国民に関心をもってもらうために制定された。

8月は「道路ふれあい月間」でもある。

※資料:国土交通省HP

9月10日 / 下水道の日

昭和36年、著しく遅れている下水道の全国的な普及を図る必要があることから、これをアピールするために「全国下水道促進デー」として始まった。

この日を中心とした前後1週間の間、下水道事業者である地方公共団体で各種催しが展開されている。

※資料:国土交通省HP

11月18日 / 土木の日

土木学会の前身「工学会」の設立が明治12年11月18日であることから制定された。

国民に土木との触れ合いを通じて、土木技術および土木事業に対する認識と理解を深めてもらうため「くらしと土木の週間」として各種イベントが開催されている。

※資料:公益社団法人土木学会HP

県コンとは??

千葉県建設コンサルタント業協会。略して“県コン”。

本協会は、地元千葉県の安全な地域づくりに貢献できるよう、昭和55(1980)年1月に発足しました。平成20(2008)年に千葉県と災害協定を締結し、また、平成24(2012)年には一般社団法人化により、組織の基盤強化を図りました。

一般社団法人 千葉県建設コンサルタント業協会

インフラのストック効果事例紹介

千葉県の九十九里浜の沿岸は、平成23(2011)年3月11日の東日本大震災で、津波が堤防を越えて市街地まで流入し、人的被害の他、甚大な建物被害(浸水家屋837戸)などが発生しました。

現在、数十年～百数十年に一度来襲する津波に備え、海岸堤防のかさ上げなどが行われています。この整備により、低減される被害総額は約700億円となり、軽減される浸水面積は1,956ha、家屋数は4,706戸と想定されています。この事例に、県コンの構成会社の多くが関わっています。



出典:「暮らしを支えるインフラ整備～インフラのストック効果2～」千葉県県土整備部県土整備政策課

デザインの仕事の魅力を語る!

県コンの構成会社で働く若き技術者の声を聞いてみました。きっかけ・動機、働いてみて感じたこと、今後やってみたいことなど。少しでも、建設業界について興味を持っていただけたら幸いです。

Kさん 30代男性

- 建設業の世界に関心を持った動機**
父親が建設コンサルタント業界にいたため、小さい頃から話を聞いていて興味があった。
- 建設コンサルタントに就職した理由**
道路の設計の仕事がしたいと思い、建設コンサルタントに就職。
- 建設コンサルタントのやりがいや使命**
自分が設計した場所が何年か先に施工され、日常の一部となることにやりがいを感じる。
- 主な仕事内容**
道路設計、護岸設計

Wさん 20代女性

- 建設業の世界に関心を持った動機**
大学の卒業研究で環境調査を行ったことがきっかけ。
- 建設コンサルタントに就職した理由**
大学の卒業研究で環境モニタリングの調査を行った際、大変ではあったがやりがいを感じたため、環境に係るコンサルタントの仕事に就きたいと思った。
- 建設コンサルタントのやりがいや使命**
コンサルタントとして自分の知識を活かし、助言することが重要なので、常に学び続けなければならないという大変な面もあるが、その分、自分自身が成長し、知識や経験を活かした際にやりがいを感じる。
- 主な仕事内容**
一般廃棄物処理基本計画改訂支援業務、クリーンセンター生活環境影響調査等業務、不法投棄等事案対応支援業務、産業廃棄物処理工場騒音・振動・アスベスト調査業務等

Iさん 20代男性

- 建設業の世界に関心を持った動機**
大学進学を考える時にオープンキャンパスで土木工学を見学し、建設現場で汗水流すだけではない多様な働き方がある事を知った。スケールの大きい物を創ることに関わりたくて、土木の世界に入ろうと考えた。
- 建設コンサルタントに就職した理由**
大学で学んだ事を振り返ってみて、建設安全管理と都市工学が特に面白く感じていた。建設コンサルタントで自ら手がけた計画書や提案書が採用され建設事業に繋がれば嬉しいと思った。また、安全管理を取込んだ設計を行い、事故防止へのアプローチを提案出来ればと思った。

Nさん 30代男性

- 建設業の世界に関心を持った動機**
昔からのものづくりに興味があり、将来もその分野に携わりたかった。
- 建設コンサルタントに就職した理由**
高専にて土木設計の基礎を学び、それを社会に活かしたいと希望した。
- 建設コンサルタントのやりがいや使命**
自分の技術を思う存分に発揮でき、自分の力で社会基盤づくりに貢献すること。自分が設計した現場が工事を終え、完成して形になると苦労が報われた気がして嬉しい。
- 主な仕事内容**
道路設計、交差点設計

Sさん 30代男性

- 建設業の世界に関心を持った動機**
以前、建築の世界にいて、木造住宅の構造体(骨組)の設計に携わっていたためか、家が完成すれば骨組は見えず物足りなさを感じていた。土木の世界の形形である橋は目に見えて残り、地図に残るものであり、スケールの大きさに興味を持った。
- 建設コンサルタントに就職した理由**
知り得なかった建設コンサルタントという業種を橋への興味から調べて行くうちに、建設コンサルタントは建設業の上流に位置して、自分の思想を反映させられると思った。
- 建設コンサルタントのやりがいや使命**
橋への興味から入社後、橋梁の点検および補修設計に携わっている。橋の医者のような仕事であると思っている。自分の目で見て、手で触れて診断し何処の調子が悪いのか、何故悪くなったのか、どうしたら元気になるかなど思考を巡らせて日々の仕事に熱中している。いつか橋の名医になること、それが使命だと感じる。



千葉県PRマスコットキャラクター
チーケン
千葉県許諾第A8769号

一般社団法人 千葉県建設コンサルタント業協会

(事務局) 千葉市中央区新宿 2-3-6 和合建設コンサルタント(株)内
TEL: 043-246-8875 FAX: 043-246-8876
e-mail: info@chiba-kenkon.jp URL: <http://www.chiba-kenkon.jp/>